

メント・モリ 終末期医療の現在地



橋本 達夫

高血圧症・腎臓内科学 教授

本年2月、「救急・集中医療における生命維持治療の終了／差し控えに関する4学会合同ガイドライン」案が発表され、生命維持治療を終了する際の手順や選択肢、終末期の定義、緩和ケアの手順などが示されました。一方で、救命が優先されなくなる可能性や、家族や病院の都合で治療終了の可能性など、問題点も指摘されています。このことは死亡診断書を交付できる全ての医師・歯科医師にとっても関わりがあります。

本セミナーでは、終末期医療について概説するとともに、新ガイドライン案についても解説いたします。さらに、今回の診療報酬改定で、緩和ケアの対象疾患に末期腎不全が加わった経緯についても紹介いたします。

先生方の日常診療や、ご家族等が終末期医療を受けられる際の一助となれば幸いです。

【略 歴】

1997年 横浜市立大学 卒業
2000年 藤沢市民病院 レジデント
2000年 筑波大学大学院 特別研究学生
2003年 横浜市立大学大学院 卒業
2008年 オーストリア科学アカデミーIMBA ポスドク
2014年 JCHO 横浜保土ヶ谷中央病院腎臓内科 部長
2018年 横浜市立大学医学部薬理学 講師
2020年 神奈川歯科大学高血圧症・腎臓内科学 教授

*主な所属学会等

NPO 法人	日本唾液ケア科学会 評議員・暫定指導医
一般社団法人	日本内科学会 総合内科専門医・認定内科医
一般社団法人	日本腎臓学会 腎臓専門医
一般社団法人	日本透析医学会 透析専門医
一般社団法人	日本病態栄養学会 病態栄養専門医